

令和5年度自己評価の結果について

社 会 福 祉 法 人 秀 峰 会
つくし保育園 戸塚

1. 自己評価の集計結果

つくし保育園戸塚における自己評価の結果をご報告致します。
今後の保育の質の向上に努めて参ります。

回 答		イ	ロ	ハ	ニ	計
分 野		よく出来ている	ほぼ出来ている	努力が必要	私の業務外 または未経験	
1.	保育の理念・保育観	27.2%	50.2%	21.4%	1.2%	100.0%
2. 保 育 の 内 容	1)保育計画・指導計画	12.7%	45.6%	25.9%	15.8%	100.0%
	2)乳 児 保 育	22.5%	50.9%	8.4%	18.2%	100.0%
	3) 3歳未満児保育 (1・2歳児保育)	15.8%	55.8%	15.8%	12.6%	100.0%
	4) ア.基 礎 的 事 項	16.4%	48.5%	18.7%	16.4%	100.0%
	イ.健 康	15.4%	38.6%	18.9%	27.2%	100.0%
	ウ.人 間 関 係	18.1%	45.0%	20.5%	16.4%	100.0%
	エ.環 境	13.2%	31.6%	40.1%	15.1%	100.0%
	オ.言 葉	16.7%	54.5%	22.0%	6.7%	100.0%
	カ.表 現	13.2%	33.2%	26.8%	26.8%	100.0%
	5)特別な配慮や支援を必要とする子ども(障害児)の保育	12.7%	23.7%	26.3%	37.3%	100.0%
	6)行 事	17.4%	54.7%	18.9%	8.9%	100.0%
	7)延長保育・一時保育	16.8%	29.5%	10.0%	43.7%	100.0%
3.	保健活動・安全管理	24.1%	56.0%	15.8%	4.1%	100.0%
4.	保護者・地域社会・関係機関との連携	16.4%	42.1%	22.3%	19.2%	100.0%
5.	地域の子育て支援	7.5%	49.6%	34.6%	8.3%	100.0%
6.	保育園の職務・役割分担	19.1%	62.7%	13.9%	4.3%	100.0%
7.	保育士としての資質向上 (研修・研究活動)	14.0%	50.9%	29.4%	5.7%	100.0%

2. 令和5年度の振り返り

●可動式パーテーションを利用し、用途に合わせて変更可能な保育環境

クラス単体での活動も集中力を維持したまま可能でありながら、朝夕の合同保育の際などは広く使用することで異年齢交流も盛んに行うことが出来た。職員にとっても、他者の保育を見て・聞いて、より保育力の向上へと繋がるメリットがあったと感じている。

●体操クラブを通した生きる力・非認知能力の育ちの保障

本年度より体操クラブを導入。共感し、わいわいと日常的に体を使うことを楽しみながら、結果、技術取得に繋がるというエールの方針に深く共感。まだまだ、職員へ啓蒙は必要だが、今後、戸塚の強みになっていくと感じている。

●不適切保育の撲滅

同等の価値観・保育観で保育が出来るようになるまで、啓蒙を継続。

3. 令和6年度の目標

●不適切保育の撲滅

子どもの人権を最大限に尊重した、育ちを保障するに適した保育の実施。

「不適切」に対し共通理解を深める為の、研修の計画・実施を最優先。